
環境思想・教育研究

2023年 第16号

◆ 特集Ⅰ 人新世の人文学は何を語り得るのか——もう一つの科学 (science) を求めて

特集にあたって	1
人新世と知の公共性——〈自然の数量化〉をともなう経験科学の陥穽.....大倉 茂	2
ヨーロッパのもう一つの伝統——科学と芸術の間.....片山善博	11
限界の時代における修理する権利	吉田健彦 21

◆ 特集Ⅱ 小原秀雄の研究をめぐる

ユクスキュル『生物から見た世界』まえがき・序章考	岩田好宏 29
小原秀雄の思想と現代的課題——絶滅、自己家畜化、生物多様性、物質代謝.....尾関周二	36
〈自然 (ナチュラル) さ〉にこそ世界は保たれている ——小原秀雄と H.D.ソローのトランスクリティーク	穴見慎一 49

◆ 論壇フロンティア

エコセクシュアリティを発掘する ——ある運動の起源と未来に関する考古学のおよび系譜学的省察	イング・コニック/エイドリアン・コニック [布施 訳] 62
---	--------------------------------

◆ 一般研究論文

「エコ」なき時代の環境思想とその行方 ——エコロジー、人新世、ポストヒューマンが映し出す 「地球1個分」問題と「脱生体化」問題について.....	上柿崇英 81
生協産直における契約内容の決定プロセスに関する研究.....	榎本弘行・上木康太郎 92

◆ 書評

〈開発〉における帝国主義的支配 (澤佳成『開発と〈農〉の哲学——〈いのち〉と自由を基盤としたガバナンスへ』)	北見秀司 103
---	----------